

「希望がみえるまち、誰もが住みたく なるまち掛川」の実現に向けて

新年度予算(案) を紹介します

総務課
(☎21-1133)



一般会計 407億円の内訳

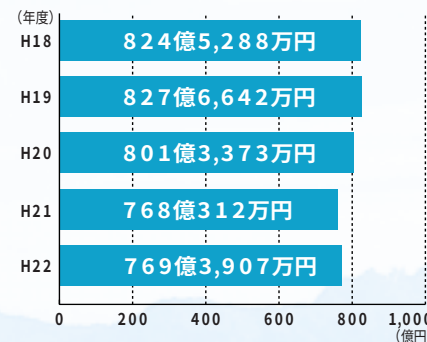
平成22年度の当初予算(案)がまとまり、3月1日から始まっている市議会3月定例会で審議されています。

一般会計は、407億円、前年度比2.8%増となりました。子ども手当に伴う増などで微増となったものの、経済不況の影響で市税が13億3,896万円減、前年度比6.5%減となりましたが、事業の見直しを行うとともに、市民サービスの確保に努めました。

特別会計は、15会計で219億8,210万円、前年度比0.7%増、企業会計は、2会計で142億5,697万円、前年度比7.2%減で、市全体の予算総額は、769億3,907万円、前年度比0.2%増となりました。

新年度の最重要施策として「3つの日本一のまちづくり」を掲げ、「希望がみえるまち、誰もが住みたくなるまち掛川」の実現に向けた事業を予算化しました。

当初予算規模の推移



「3つの日本一のまちづくり」

1 健康医療日本一 35.6億円

- 新病院関連事業 6億6,067万円
- 子ども医療費助成事業 2億5,126万円
 - ・小学1～3年生通院助成開始
- 地域医療体制整備事業 2,432万円
- 緑茶活用調査研究事業 1,933万円

3 市民活動日本一 1.8億円

- 市民自治活動基本条例制定費 109万円
- 市民活動拠点整備事業 524万円
- 地域生涯学習センター支援費 8,552万円
- 市民交流センター管理運営費 798万円
- 協働コーディネーター養成事業 61万円

2 環境日本一 12.6億円

- 新エネルギー普及促進事業
 - ・太陽光発電施設等設置補助金 725万円
 - ・エコマイハウス支援事業 252万円
 - ・太陽光発電施設整備費借入金 信用保証料補助金 65万円
- 小中学校環境学習事業 165万円
- グリーンニューディール基金事業 2,928万円
 - ・山王荘空調設備等省エネ改修
- ごみ減量対策費 1億4,401万円



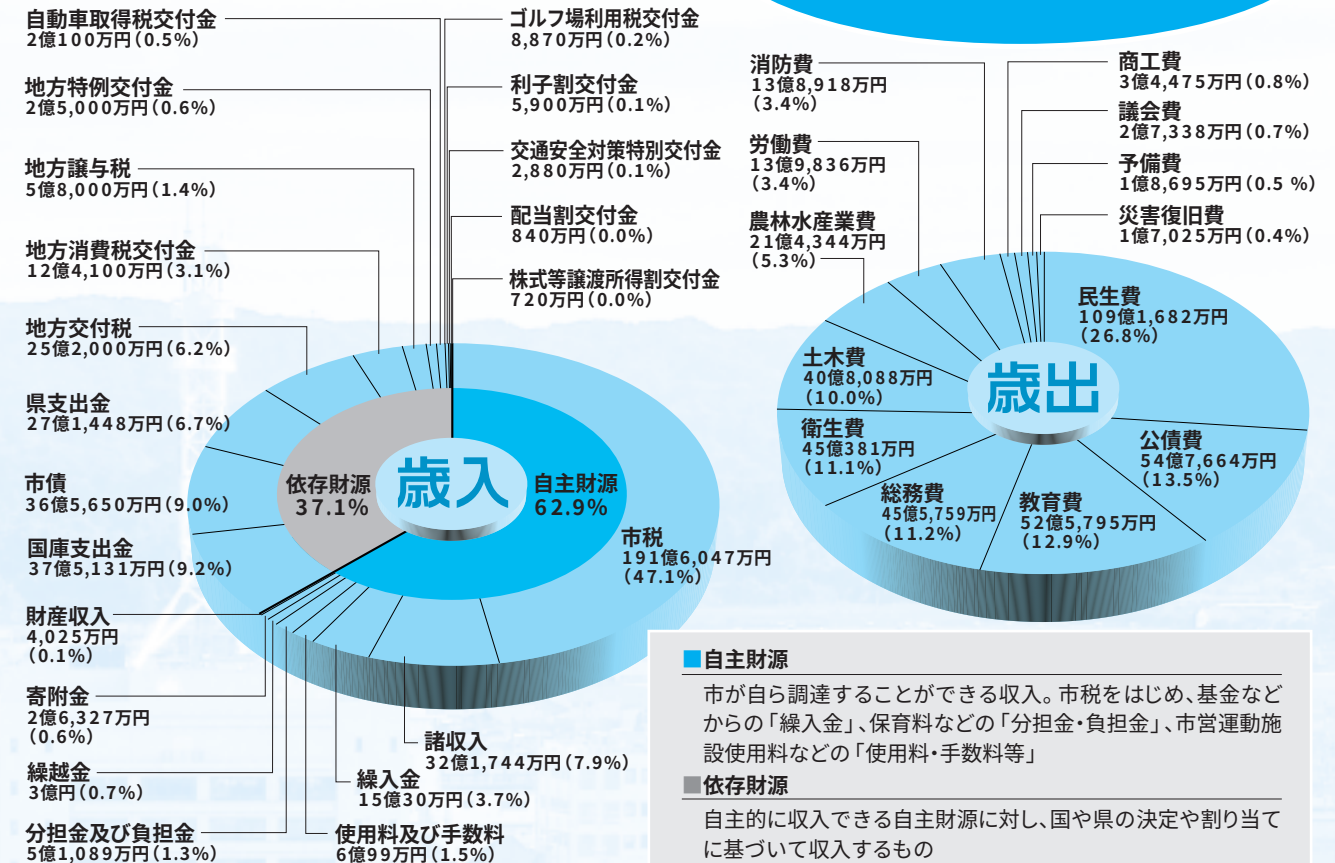
▲ごみ減量大作戦市民パレード



▲住宅用太陽光発電

一般会計における主な事業

●国勢調査費	4,628万円	●合併推進道路整備事業費	6億1,359万円
●子ども手当(児童手当含む)	21億8,933万円	●JR掛川駅木造駅舎耐震化負担金	2,150万円
●国民健康保険特別会計繰出金	11億7,825万円	●新病院アクセス道路整備事業	2億2,050万円
●保育ママ事業	576万円	●掛川駅梅橋線整備事業	5,201万円
●妊婦健康診査事業	9,056万円	●消防団活動費	2億538万円
●緊急雇用対策事業	9,270万円	●同報無線・防災ラジオ整備事業費	1億6,177万円
●お茶のまちづくり推進事業	200万円	●原野谷中屋内運動場改築事業	3億3,400万円
●プレミアム買い物券補助事業	1,800万円	●インドパシフィック掛川大会開催費	300万円



平成22年度 掛川市各種会計予算規模の前年度比較表

会計区分	平成22年度	平成21年度	対前年比(%)
一般会計	407億円	396億円	2.8
特別会計	219億8,210万円	218億3,332万円	0.7
企業会計	142億5,697万円	153億6,980万円	-7.2
合計	769億3,907万円	768億312万円	0.2